

知立 弘法さんかわら版

発行編集部

大塚耕平事務所

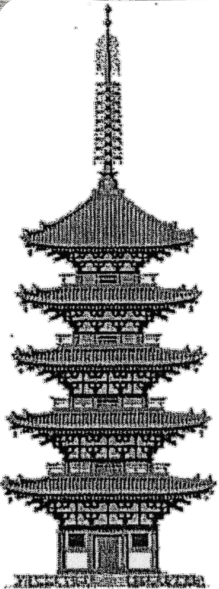
☎052-757-1955

Kouhei@oh-kouhei.org

皆さん、こんにちは。いよいよ秋本番。朝晩は冷え込みます。くれぐれもご自愛ください。
今年のかわら版は三河新四国八十八ヶ所霊場についてお伝えしています。さて、今月から蒲郡市に入ります。

★三河高野山の金剛寺

三河新四国最東端の四十三・四十四番から折り返し、一路西に向かいます。国道一号線から御津を経て国道二十三号線に入り、三河湾を眺めながら西に進むこと約十五キロメートル。三谷温泉を擁する乃木山にあるのが四十五番、弘法山金剛寺。真言宗高野(山)派のお寺、三河高野山とも称されます。
蒲郡市には、三谷のほかにも形原、西浦などの温泉街がありますが、三谷は最も長い歴史を持つ愛知県下有数の古湯。行基による発見と伝えられます。寺伝によれば、当寺の前身は大同年間(八〇六年〜八一〇年)に弘法大師が開創。その後、現在の金剛寺は一九三八年(昭和十三年)に名古屋の財界人滝信四郎が開創。前年には高さ三メートルの弘法大師像も寄進しています。滝信四郎は一八六八年(慶応四年)



生まれ。一八九五年(明治二十八年)に名古屋の織維問屋・滝兵(現タキヒヨ)一、一七五一年宝暦元年創業)の五代目を継承。
一九二六年(大正十五年)には創業地(江南市)に滝実業学校(現滝学園)を創設するなど、多方面に活躍した近代名古屋を代表する財界人です。
蒲郡市は自然も豊かで温暖な地であることから、縄文・弥生時代から人が居住し、古代史にも周辺の地名が登場。既に集落を形成していた歴史的な地域です。

平安時代に三河国司を務めた藤原俊成が当地の基盤を築き、源平時代には熊野との間に海上交通も栄えた要地。以後も多くの貴族や武士が当地に関与し、戦国時代になると松平氏、今川氏等が攻防を繰り返しました。
江戸時代には、形原藩、吉田藩、岡崎藩等が統治に関わるなど、古くからの寺社仏閣が多い地域です。因みに、現在の市域の多くは旗本・寺社領だったと言われています。

ご本尊は本四国六十一番札所香園寺のご本尊子安大師の分身。女人、子供の守り本尊として信仰を集めています。四十六番は弘法大師像近くにある興之院です。

ご本尊(四十五番) 子安大師
ご本尊(四十六番) 毘沙門天、准胆(?) 観音、不動明王
ご詠歌 たかきより
あまねくてらすみひかりの
大師のめぐみいとあらたなり

★光昌稲荷

四十五・四十六番から乃木山を下り、再び国道二十三号線を西に向かつて約二キロメートル進むと、三河三谷駅南側、八剱神社のある集落の中に四十七番、海平山光昌寺があります。曹洞宗のお寺です。
一〇九六年(永長元年)開創の古刹ですが、当初は天台宗だったそう。度重なる兵火の末に、曹洞宗に改宗したそうです。
本堂は一九二六年(大正十五年)に総樺(けやき)柱で再建。ご本尊は丈約八十センチの釈迦牟尼仏です。
本堂の横には鳥居の朱色が鮮やかな光昌稲荷。参道には寺院には珍しい幟立石もあり、神仏習合の色濃い境内です。

四十八番は、山門を入った右側の弘法堂です。

ご本尊(四十七番) 釈迦牟尼仏
ご本尊(四十八番) 弘法大師
ご詠歌 海平の峰の松風 鐘の音も
南無や大師の慈悲ぞこもれる

★百八十分の椅子席

四十七・四十八番から蒲郡市街地を西に向かいます。
善応寺に向かう途中、竹島と蒲郡ホテルを横目に進みます。一九二二年(明治四十五年)、三河湾の景勝地である竹島と棧橋で繋がる対岸部に料理旅館「常盤館」が創業し、当時の文豪や政財界人から人気を博しました。
一九三四年(昭和九年)には竹島対岸の小高い山に「蒲郡ホテル」が建築され、現在も国の近代化産業遺産に認定されており、愛知県三河地方を代表する歴史的建築物です。
約三キロメートル進むと、蒲郡駅の

北側の市街地の中にあるのが四十九番、巖松山善応寺。浄土宗西山深草派のお寺です。
開創は一四五九年(長祿三年)、慶順和尚が開創しました。
江戸時代から約二百五十年建っていた木造本堂を一九六一年(昭和三十六年)に鉄筋コンクリート造りで再建。当時としては珍しかったでしょうが、本堂内は百八十分の椅子席が並びます。高齢者にはありがたい配慮です。
その当時の蒲郡市は温泉客や観光客の最盛期。市街地、繁華街の真ん中にある当寺の新築された本堂も、参拝客で賑わったことでしょう。
五十番は本堂内左側にある巖松殿。

ご本尊(四十九番) 阿弥陀如来
ご本尊(五十番) 観世音仏
ご詠歌 こえのみず
にこれどすめどへだてなく
だいひのつきのてらさぬはなし



三河新四国八十八ヶ所マップ
(45・46番 弘法山金剛寺、47・48番 海平山光昌寺、49・50番 巖松山善応寺)

来月はさらに西に進んで形原温泉に向かいます。形原城、形原松平氏縁(ゆかり)の実相院、利生院に向かいます。乞ご期待。